

生活科 学習指導案

高石市立東羽衣小学校
指導者

1. 日時 2025年11月28日(金) 第5 時限
2. 学年・組 第1 学年3組(31 名)
3. 単元名 「きれいにさいてね わたしのはな」(教育出版)

4. 単元目標

アサガオなどの植物を育てる活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きけることができ、育てている植物に合った世話の仕方や、植物が自分と同じように生命を持っていることや成長していることに気づき、植物への親しみをもち、大切にできるようにする。

5. 教材観

アサガオの栽培には発芽や開花など児童の感性が揺さぶられるような場面が数多くあり、生命が感じられる意義ある活動である。入学間もない1 年生にとって、毎朝のアサガオとの触れ合いは、学校生活をより楽しいものにする。諸感覚を使って植物に関わる力や、成長や変化を捉え、それらに応じた世話をする力が育っていくことも期待できる。更に、栽培活動の中で生まれたたくさんの気づきを、言葉、絵、文など多様な表現で表出することもできる。また、学級で同じ植物を栽培することで、比べたり気づきを共有したり、友だちの表現の仕方を取り入れたりしながら、学びを深めることができる。

単元を通して、子どもたちが頑張って世話をしてきたので花が咲いたという、活動に対する成就感、満足感を味わいたい。そして、アサガオの立場に立って考えて世話を継続していくことは、アサガオの気持ちを想像したり、考えたりすることであり、思いやりの心を育てることにつながると考える。また、アサガオに親しく接してきた自分のかかわりを振り返ることで自分のよさや成長にも気づき、これからの活動への意欲を高めることができると考えている。

6. 児童観

31 名(男子19 人、女子12 人)のクラスの子どもたちは、学校生活にも慣れ、明るく元気に過ごしている。素直で周りの人やものにも親しみをもちかかわろうとする子が多い。また、学習活動にもまじめに取り組んでいる。

アサガオを育てる学習をするにあたって、今までの栽培経験を聞くと、幼稚園や保育所、家などで、花や野菜などを育てたことがある子が複数いた。一方で、花や野菜などを育てた経験がない子もいた。一人一鉢のアサガオを育てることで、自分のアサガオに対して、責任をもって世話をしなければならない。また、どのような世話が必要かを自分で考えなければならなくなる。自分のアサガオを育てていく中で、アサガオに関する気づきを持ったり、成長をしていくことへの喜びを感じたりしながら、アサガオへの親しみを深めていってくれることを願っている。

7. 指導観

小学校学習指導要領（平成29年度告示）生活科の内容（7）

動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持って働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。

を受けて設定した。

初めにアサガオの種を見せ、何の花の種なのかを考えさせ、アサガオに興味を持たせる。その後、一人一鉢でアサガオを育てることを伝えて自分のアサガオを育てるという気持ちを高めたいと考える。毎日の水やりを忘れずに行っていけるように、朝の準備の中に水やりを入れて黒板に掲示することでルーティーン化させていく。また、成長するためには、成長に合わせた世話が 필요한ことを自分自身の成長と重ねて考えさせることで、アサガオの気持を想像して心を寄せながら世話ができるように声かけ等を行っていきたい。継続的に世話をし、毎日関わることで生命あるものを大切にする心を育てていきたいと考える。また、継続して世話をし、アサガオの成長を見守っていく中で、アサガオの変化に多くの気付きがあると考え。子どもたちの気付きを大切にしながら、アサガオの成長の様子を観察カードに記録をし、成長の様子を確認していく。この際、クロームブックで撮影した写真も活用し、双葉や本葉、花などの特徴のより深い気付きにつながるようにしていきたい。また、長期的な栽培活動を通して、毎日世話を頑張ることや上手に世話ができるようになったこと等から、自分の成長にも気付くことができるようにする。

8.単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
あさがおなどを育てる活動を通して、植物の合った世話の仕方や、植物が同じように生命を持っていることや成長をしていることに気付いている。	あさがおなどを育てる活動を通して、植物が育つ場所、成長の様子に関心をもって働きかける。	あさがおなどを育てる活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとしている。

9.単元の指導と評価の計画（9時間）

時	学習内容	主な評価規準 ◎指導に残す評価○記録に残す評価
第1時	たねのかんさつ ○教科書を見たり、校庭に咲いている花を想起したり、花の栽培経験を振り返り交流したりする。 ○諸感覚を使って種を観察する。 ○観察したことを絵や文で表す。	◎種の特徴に気付いている。【知・技】（発言） ○種の特徴をとらえて絵に表している。【思・判・表】 （ワークシート）
第2時	たねをまこう ○種まきをする。	◎たねの植え方を知る。【知・技】 ◎種まきの仕方が分かり、適切に種まきをしている。【思・判・表】（行動観察）

第3時・第4時		まいにちみよう ○葉や茎の観察をする。 ○成長の様子を伝え合い、絵や文で表したりする。	◎発芽の家庭など成長の様子に気付き、芽などの世話において、適切なあげ方や量で水やりをしている。【知・技】（発言・行動観察） ○発芽の様子を、友だちの植物と比べながら、観察している。【思・判・表】（発言・ワークシート）
第5時・第6時		せわをつづけよう ○さまざまな方法で花を観察する。 ○押し花や色水つくりなどの遊びを行う。 ○夏休み中の世話の仕方について話し合う。	◎つぼみから花がさくまでの変化や、毎日、世話をして花を咲かせたことに気付いている。 【知・技】（発言・観察行動） ○開花の様子を自分なりに表現している。 【思・判・表】（ワークシート） ◎花を長く楽しみたいという思いや願いをもって、花を残そうとしている。【主】（発言）
第7時・第8時		たねとりをしよう ○花がさいたあとのあさがおの様子について話し合う。 ○種の様子を観察しながら種取りをする。 （情3-j-1） 気付いたことを絵や文で表現する。	◎あさがおに生命があることに気付き、種取り後において、鉢や土の後片づけに気付き、片付けている。【知・技】（発言） ◎あさがおと自分の成長を関連付けながら、種取りをしている。【思・判・表】（発言、ワークシート）
第9時・10時（本時）・11時		なにをかんじたかな（1） ○あさがおに伝えたいことを考え、クラゲチャートに書く。	○伝えたいことをクラゲチャートに書いている。
		○あさがおの成長や世話を振り返る。 （情3-j-1、1-D-1） ○あさがおへの思いや育てて気づいたことを表現する。 ○あさがおへの思いを伝え合う。	【思・判・表】（発言、ワークシート） ◎成長の様子について写真を時系列に並べている。 【思・判・表】（行動観察、クロームブック）
			◎育て続けた自分に自信を持ち、これからも植物を大切にしようとしている。【主】（発言・ワークシート）

10. 本時の展開

（1）本時の目標

あさがおの成長や、自分の世話について振り返り、あさがおを育てて気づいたことやあさがおへの思いを自分なりの方法で表現することができる。

（2）本時の評価規準

成長の様子について写真を時系列に並べている。【思・判・表】

自分なりの方法であさがおへの気持ちを表現している。【思・判・表】

（3）情報活用能力（ステップシート 3-J-1、1-D-1）

起動や終了、ログインやログアウトの基本操作ができ、ロイロで送られた写真を取り出し、並べ替えることができる。

(4) 本時の判断基準

十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する子どもへの支援(C)
自分なりの方法で、あさがおを育てて気づいたことやあさがおへの思いを表現することができている。	自分なりの方法で、あさがおへの思いを表現することができている。	自分の育てたあさがおの花やイラストを参考にしたり、同じ方法で表現している友だちの作品を参考に考えるように助言をする。

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容	指導上の留意点	評価規準 ◎指導に残す評価○記録に残す評価
導入	・あさがおの育ってきた様子を振り返り、本時の学習課題をつかむ。 ・【情】ロイロを使って、あさがおの写真を成長の順番に並べ替える。 ・【ステップチャート】あさがおの成長過程をステップチャートにまとめる。 【情3-J-I、I-D-I】	・あさがおの写真を成長の順番に並べ替えたり、ステップチャートにまとめることで、あさがおの成長の様子やあさがおをそだてた気持ちを思い出させる。	◎成長の様子について写真を時系列に並べている。 【思・判・表】(行動観察)
	そだてたあさがおにきもちをつたえよう。		
展開	・自分なりの方法で、あさがおへの気持ちを表現する。 【個・協】	・前時に作成したクラゲチャートを参考にしながら、あさがおへの気持ちを自分が選んだ用紙に表現させる。 ☆同じ用紙の子どもたちでグループになり、あさがおへの気持ちをそれぞれの用紙に表現する。	◎育てたあさがおへの気持ちを表現している。 【主】(ワークシート)
まとめ	・友だちと伝え合うことを知る。	・次時の学習を知らせる。	